



kihoku マンスリータイム 6月号

6月は「子どもの安全確保推進月間」です

6月、新型コロナウイルスの第6波もやっと下降線をたどり、学校として新たな一步を踏み出すための大切な時期となりました。今年度は、コロナ対策をしながら家庭訪問、授業参観、個人懇談と実施できました。子供たちも、仲間の輪を広げながら授業にしっかり取り組んでいます。6月は、安心・安全な学校づくりを考える月でもあります。学校はこれからも安全確保に努めてまいります。

3年ぶりの授業参観

これまでコロナ禍では、参観の中止が繰り返されてきました。5月末から6月にかけて7日間、感染症対策をとりながら、廊下から授業を参観していただきました。連絡帳で知る様子だけでなく、実際に子供たちの成長を見ることができます。最も早く実現したかった行事です。



スクールバス添乗員防災研修

巨大地震はいつ発生するか予想できません。もしも、スクールバスで登下校中に発生したら、子供たちの安全確保、安否確認はどうしたらよいのか対策が必要です。今回は、災害用伝言版(web171)を使用して、避難場所、児童生徒の安否情報を学校本部に連絡を入れる練習を行いました。



傘さし練習

梅雨の季節、傘を一人でさせるようになることも大切な力です。小学部の低学年の子供たちにとっては、少し大きくて持ちにくい傘をまっすぐにさすことは難しい課題です。晴れの日みんな並んで練習している姿は微笑ましいですね。



防災ショート訓練 6/13~17

緊急地震速報が流れると、一斉に、机の下に入ったり、ヘルメットをかぶって頭を守ったり身を守ることができていました。一週間で3回、抜き打ちの練習をしましたが、全員真剣に取り組めていましたね。

